

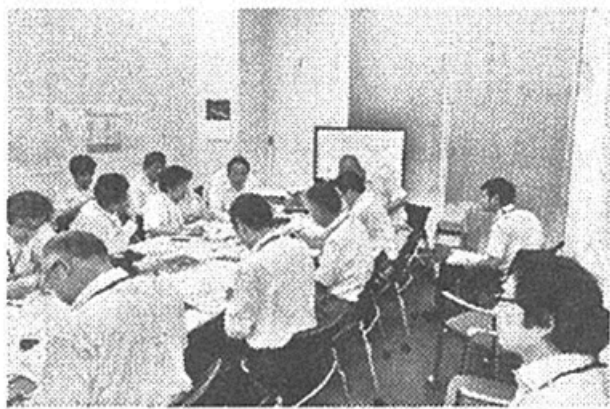
初動対応を確認

ACKグループ
一斉で防災訓練

ACKグループは2日、最大規模の地震が発生したと想定し、全国にあるグループ各社の拠点

で一斉に防災訓練を実施した。全従業員約1800人が参加し、事業継続計画（BCP）と、初動対応の手順を詳細に定めた「BCP初動対応編」に沿って訓練を行った。

全国の約30拠点に現地災害対策本部を立ち上げ



写真、従業員の安否確認や初動対応での役割分担の明確化、事業復帰時期の判断、従業員の帰宅可否の判断、帰宅困難者への備蓄品の配布など、初動対応の一連の流れを確認した。

野崎秀則社長は「今回の訓練で円滑な初動対応を実践することに一定の成果が得られた。今後は訓練の結果から幅広く課題を洗い出し、BCPを充実させる必要がある」と述べた。